

第175回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和5年2月24日（金）16:00～16:09
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

5ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

昨日（23日）の新規陽性者数は、119人です。

次に、4ページ。

23日現在の療養者の状況です。

確保病床の入院者は、104人です。このうち、重症者が0人となっております。なお、確保病床外に入院している方も含めた入院者数は150人です。

宿泊療養施設入所者数は、51人となっております。

病床等の状況についてでございます。

即応病床数については、2月9日から669床の体制へと移行を進めている途中でございますが、本日時点で678床となっております。

次に、6ページ

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は、93.61人。

前の週からさらに減少し、7月上旬以来、7か月半ぶりに100人を下回りました。

次に、8ページ

確保病床の使用率は、13.6%。

引き続きレベル1の水準となっております。

次に、11ページ

「重症者用の病床使用率」が、0.0%、

発熱外来患者の状況を示す「一週間の医療機関報告新規陽性者数」が、1,368人となっております。

インフルエンザが流行期に入っていることや「保健医療の負荷の状況」等を総合的に勘案いたしますと、引き続き「レベル2」と考えております。

【資料3】

次に、13ページ、資料3をお願いいたします。

無料検査の期間の延長についてです。

感染不安を感じる県民を対象とした無料検査について、「3」の期間のとおり、3月31日まで延長いたします。

検査実施場所は県内205箇所に整備しており、県のホームページに詳細を掲載しております。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

14ページ、資料4をお願いします。

【資料4】

2月21日時点の接種実績については記載のとおりになります。

このうちオミクロン株対応ワクチンの接種回数につきましては、累計で、976,256回、全人口に対する接種率は53.0%で全国における接種率43.6%を9.4ポイント上回っております。

次に、資料はございませんが、一昨日(2/22)、国の「厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会」が開催され、新型コロナワクチンの今後の接種の在り方について審議が行われました。

その中で、2023年度においては、特例臨時接種を延長して接種を継続すること、また、重症化リスクが高い方等を対象として、2023年内に2回の接種を行うこととし、まずは春から夏にかけて接種を行うこと、さらに、全ての年齢の方を対象として、秋から冬にかけて接種を行うことなどが了承されました。

委員からは、実施にあたって自治体の意見をしっかりと聞くこと等について、意見があったところであります。

県としては、今後の国の対応を注視するとともに、新型コロナワクチンをできるだけ多くの方が接種できるよう、引き続き接種促進に取り組んでまいります。

(金光教授)

先ほど来、御報告ありましたが、感染者数は今、減少傾向ということで、これについては大変喜ばしいことと考えております。

ただ一方で、複数の陽性者がいる施設も、今もあるということで、これも現実だということをお忘れいただきたくはないと思います。

マスクをすることがパーフェクトではありませんが、感染率を明確に下げるというエビデンスは複数存在しますし、これについてはもう議論の余地がないということでもあります。

ですから、感染者数が減ったとしても、マスクを含めた基本的感染対策を引き続きやっただけだと考えています。

(知事)

全国の新規陽性者数は、前の週の同じ曜日を下回る日が多く、減少傾向が続いています。福島県においても、1月中旬以降、新規陽性者数は減少傾向にあり、最近では五百人を下回る日が続いています。

改めまして、医療の現場で懸命に御尽力いただいている医療関係者の皆様に、深く敬意と感謝の意を表します。また、こうした減少傾向に御協力をいただいている県民の皆様、事業者の皆様に心から感謝を申し上げます。

一方で、インフルエンザの患者数は、全国では、定点当たりの患者数が注意報のレベルを超えています。県内においても、流行開始の目安となる「1」を超える状況が続いていますので、引き続き注意が必要です。

感染対策としては、新型コロナもインフルエンザも同じです。症状が出た場合に備えて、検査キットや解熱鎮痛薬などを事前に準備しておくとともに、他の方に感染させてしまう可能性のある期間を把握の上、感染拡大防止に努めてください。

また、花粉症のシーズンを迎え、くしゃみや鼻水などの症状のある方が増えてきました。花粉症だと思っていたら、実は新型コロナに感染していたということがあるかもしれません。いつもの花粉症だと決めつけることなく、普段と異なる行動をした場合などには、新型コロナの感染を疑い、気になる方は検査を受けましょう。

また、花粉症シーズンでも換気は重要です。花粉の流入を避けながら十分な換気をお願いします。

先般、国において、マスク着用の考え方が見直され、3月13日から、個人の主体的な選択を尊重し、着用については個人の判断に委ねることを基本とする方針が決定されました。

しかし、この決定により感染対策が不要になるわけではありません。見直しが適用されるまでは、引き続き、屋内において、人と人との距離が確保でき、会話をほとんど行わない場面などを除いて、マスクの着用をお願いします。

また、3月13日以降も、医療機関の受診時や高齢者施設等を訪問する時、混雑した電車やバスに乗車する時などは、マスクの着用が推奨されています。3月は、人が集まる機

会が多い時期でもあるため、高齢者等、重症化リスクの高い方への配慮をお願いします。

新型コロナウイルスの新規陽性者数は減少傾向にありますが、御自身と大切な方の命を守るためには、今後も気を緩めることなく、基本的な感染対策の徹底や、ワクチン接種など、感染対策を続けていくことが重要です。

引き続き、県民の皆様、事業者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いします。